

12-1 医療施設数

1年以上休止中の病院は含まない。

各年10月1日現在

年次	医療施設							歯科診療所
	総数		病院		一般診療所			
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数		
平成 22年	1,238	12,707	44	12,479	721	228	473	
23年	1,223	12,689	44	12,462	709	227	470	
24年	1,236	12,728	45	12,504	719	224	472	
25年	1,222	12,700	45	12,479	715	221	462	
26年	1,218	12,662	45	12,448	716	214	457	
堺区	302	3,416	12	3,371	186	45	104	
中区	135	2,684	7	2,684	75	—	53	
東区	129	236	2	204	71	32	56	
西区	199	951	7	925	120	26	72	
南区	189	1,829	4	1,773	112	56	73	
北区	233	2,796	11	2,749	137	47	85	
美原区	31	750	2	742	15	8	14	

資料：健康福祉局健康部保健所保健医療課

12-3 病院の概況

病院数、医療従事者数、病床数は各年10月1日現在。なお、医療従事者数は非常勤を常勤換算した数値である。

年次	病院数	医療従事者数						在
		医師	歯科医師	薬剤師	助産師	看護師	准看護師	
平成 22年	44	1,169.7	17.6	286.1	118.5	4,345.5	1,468.0	3,988,889
23年	44	1,205.7	18.1	264.5	99.1	4,396.8	1,317.9	3,926,652
24年	45	1,269.8	18.2	305.3	122.2	4,664.6	1,303.2	3,911,744
25年	45	1,259.3	19.7	310.1	121.0	4,968.7	1,291.7	3,877,769
26年	45	1,270.5	21.3	334.3	129.0	5,251.3	1,242.5	3,853,958
堺区	12	421.9	5.7	106.7	37.7	1,798.5	223.7	996,000
中区	7	259.8	3.3	64.9	52.8	1,078.2	288.0	895,362
東区	2	25.9	—	5.1	—	97.0	37.3	64,266
西区	7	102.6	—	36.0	—	390.2	174.6	300,566
南区	4	122.2	4.5	34.5	2.7	487.0	245.8	543,561
北区	11	314.0	6.8	78.6	35.8	1,232.2	192.4	816,119
美原区	2	24.1	1.0	8.5	—	168.2	80.7	238,084

資料：健康福祉局健康部保健所保健医療課

12-4 堺市立総合医療センターの診療科目別患者数

病床数及び病床利用率は感染症病棟を除く数値で病床数は年度末現在、病床利用率は（年度間延患者数）÷（病床数×入院診療日数）で算出した数値である。なお、形成外科は、平成23年10月、救急科は、平成24年4月に新しく開設した。

年度	延患者										
	延総数	内科	神経内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	産婦人科
平成22年度	359,615	141,500	7,608	21,684	62,243	21,624	8,555	11,235	—	22,845	26,450
入院	154,628	70,481	3,027	10,697	31,592	9,378	3,455	1,125	—	8,229	9,602
外来	204,987	71,019	4,581	10,987	30,651	12,246	5,100	10,110	—	14,616	16,848
23年度	341,670	139,273	6,750	21,837	55,670	20,824	9,178	10,045	448	21,641	24,017
入院	153,517	69,583	2,630	11,886	30,014	9,858	4,242	1,145	95	8,237	8,164
外来	188,153	69,690	4,120	9,951	25,656	10,966	4,936	8,900	353	13,404	15,853
24年度	339,640	129,434	6,309	19,310	52,075	21,058	8,807	8,706	6,148	22,805	23,358
入院	154,637	69,920	2,594	11,493	28,586	10,819	4,156	1,782	2,354	9,709	7,970
外来	185,003	59,514	3,715	7,817	23,489	10,239	4,651	6,924	3,794	13,096	15,388
25年度	343,596	127,952	6,158	18,957	56,027	21,289	7,237	9,141	6,289	18,405	25,599
入院	157,132	70,159	2,386	11,269	31,960	11,666	3,879	1,523	2,585	6,769	8,765
外来	186,464	57,793	3,772	7,688	24,067	9,623	3,358	7,618	3,704	11,636	16,834
26年度	346,077	136,980	6,602	19,033	52,012	20,511	7,473	9,227	6,542	16,656	25,457
入院	156,028	74,368	2,753	10,911	28,275	10,828	4,423	1,602	2,465	6,719	8,516
外来	190,049	62,612	3,849	8,122	23,737	9,683	3,050	7,625	4,077	9,937	16,941

資料：堺市立総合医療センター

12-2 医療従事者数

就業地による数値である。

各年12月31日現在

年次	医療従事者							
	医師		歯科医師		薬剤師		看護師・准看護師	
	実数	人口10万人当たり	実数	人口10万人当たり	実数	人口10万人当たり	実数	人口10万人当たり
平成18年	1,617	194.4	545	65.5	1,281	154.0	7,262	872.8
20年	1,580	189.0	556	66.5	1,448	173.2	7,726	924.2
22年	1,789	212.5	544	64.6	1,508	179.1	8,555	1,016.1
24年	1,847	219.4	554	65.8	1,541	183.0	8,785	1,043.3
26年	1,909	227.3	619	73.7	1,606	191.2	9,614	1,144.5

資料：健康福祉局健康部保健所保健医療課

1日平均	患者延数				新規入院患者年間延数	外来患者延数	病床数	病床利用率(%)	平均在院日数	年次
	結核	感染症	精神	その他						
10,928	26,275	—	959,671	3,002,943	99,057	2,591,777	12,479	87.3	40.2	22
10,758	24,614	—	934,538	2,967,500	99,705	2,592,711	12,462	86.2	39.4	23
10,688	24,180	—	929,232	2,958,332	102,365	2,568,484	12,504	85.6	38.2	24
10,624	20,226	—	920,518	2,937,025	103,916	2,590,506	12,479	85.1	37.3	25
10,559	19,278	—	897,451	2,937,229	106,383	2,581,733	12,448	84.8	36.2	26
2,729	2,801	—	340,294	652,905	36,283	770,584	3,371	80.9	27.5	堺
2,453	—	—	231,817	663,545	21,552	531,314	2,684	91.4	41.6	中
176	—	—	—	64,266	1,488	104,589	204	86.3	42.9	東
823	—	—	—	300,566	9,173	218,011	925	89.0	32.8	西
1,489	—	—	—	543,561	8,427	303,873	1,773	84.0	64.5	南
2,236	16,477	—	147,563	652,079	28,344	589,142	2,749	81.2	28.8	北
652	—	—	177,777	60,307	1,116	64,220	742	87.9	210.4	美原

眼科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	放射線科	救急科	麻酔科	感染症病棟	女性外来	1日平均患者数(感染症を除く)	病床数(感染症を除く)	病床利用率(%) (感染症を除く)	平均在院日数(感染症を除く)	年度
5,004	15,229	9,757	5,815	—	1	2	63	—	—	—	—	22
1,253	4,909	878	—	—	—	2	—	424	480	86	13	入院
3,751	10,320	8,879	5,815	—	1	—	63	865	—	—	—	外来
4,296	13,573	9,206	4,869	—	13	—	30	—	—	—	—	23
1,041	5,783	839	—	—	—	—	—	419.4	480	87.4	12.7	入院
3,255	7,790	8,367	4,869	—	13	—	30	771.1	—	—	—	外来
5,976	9,534	10,357	2,117	13,604	16	—	26	—	—	—	—	24
1,397	2,777	1,080	—	—	—	—	—	423.4	480	88.3	12.5	入院
4,579	6,757	9,277	2,117	13,604	16	—	26	755.3	—	—	—	外来
8,400	10,192	11,958	2,402	13,551	30	—	9	—	—	—	—	25
1,997	3,086	1,087	—	—	1	—	—	430.5	480	89.7	12.2	入院
6,403	7,106	10,871	2,402	13,551	29	—	9	761.1	—	—	—	外来
8,228	8,837	10,787	2,846	14,866	12	—	8	—	—	—	—	26
1,616	2,786	766	—	—	—	—	—	427.5	480	89.1	11.1	入院
6,612	6,051	10,021	2,846	14,866	12	—	8	778.9	—	—	—	外来

12-5 保健所等の活動状況

12-5-1 生活習慣病予防

年 度	健 康 手 帳 交 付 数	健 康 教 育 受 講 者 数	健 康 相 談 被 指 導 延 人 員	胃が ん 検 診 受 診 者 数	子宮が ん 検 診 受 診 者 数	肺が ん 検 診 受 診 者 数	乳が ん 検 診 受 診 者 数	大腸が ん 検 診 受 診 者 数	訪 問 指 導 延 人 員	失語症 リハビ リ 被 指 導 延 人 員
平成 22 年 度	9,046	20,223	15,003	9,602	31,280	7,606	21,135	28,658	942	511
23 年 度	9,977	15,738	12,628	9,108	29,787	7,470	20,867	34,448	1,072	527
24 年 度	8,375	14,377	11,350	9,815	26,189	8,402	18,855	34,185	1,838	503
25 年 度	10,860	14,042	9,552	10,111	26,189	9,978	19,038	35,703	1,549	452
26 年 度	8,225	15,198	10,045	9,878	24,092	10,259	17,825	36,552	1,780	436
健康医療推進課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
堺保健センター	902	1,807	917	731	2,687	757	2,000	3,839	475	29
ちぬが丘保健センター	512	2,152	670	398	1,145	498	777	2,155	229	15
中保健センター	1,171	1,121	865	1,439	3,737	1,342	2,519	4,476	187	49
東保健センター	889	1,144	1,271	1,398	2,109	1,230	1,557	4,425	189	21
西保健センター	1,220	1,907	2,005	1,279	4,039	1,440	3,583	6,633	329	52
南保健センター	1,423	3,451	1,990	2,383	4,997	2,416	3,573	6,818	17	49
北保健センター	1,475	2,659	1,981	1,515	4,432	1,257	2,981	5,857	329	68
美原保健センター	633	957	316	735	946	1,319	835	2,349	25	56

資料：健康福祉局健康部健康医療推進課

12-5-2 結核予防

結核登録患者数は年末現在の数値である。また、新登録患者数は1月1日～12月31日の間の新規登録者の数値である。

年 度	B . C . G . 接 種 乳 幼 児 数	肺が ん・結核 検 診 直 接 撮 影 数	結 核 登 録 患 者 数	新 登 録 患 者 数
平成 22 年 度	7,527	7,606	536	240
23 年 度	7,160	7,471	498	205
24 年 度	6,882	7,513	494	235
25 年 度	5,696	6,790	493	222
26 年 度	6,762	6,637	456	181
堺保健センター	755	469	113	48
ちぬが丘保健センター	241	421		
中保健センター	1,042	1,055	51	20
東保健センター	658	888	50	22
西保健センター	1,129	987	75	21
南保健センター	994	1,463	67	29
北保健センター	1,660	1,009	87	36
美原保健センター	283	345	13	5

資料：健康福祉局健康部保健所感染症対策課

12-5-3 母子保健

年 度	妊婦健康相談	新生児等訪問指	4 か 月 児	1 歳 6 か 月 児	3 歳 児
	被指導延人員	導（訪問実数）	健康診査受診者数	健康診査受診者数	健康診査受診者数
平成 22 年度	8,197	2,715	7,564	7,409	7,420
23 年度	8,868	2,649	7,316	7,615	7,226
24 年度	7,885	2,531	7,186	7,290	7,218
25 年度	7,814	2,565	6,963	7,221	7,369
26 年度	7,317	3,553	6,742	6,942	6,964
子ども育成課	—	—	—	—	—
堺保健センター	1,154	443	732	778	741
ちぬが丘保健センター	197	150	245	253	262
中保健センター	1,028	522	1,102	1,184	1,136
東保健センター	773	354	640	673	671
西保健センター	1,269	588	1,122	1,184	1,243
南保健センター	1,056	451	977	975	1,120
北保健センター	1,518	880	1,650	1,581	1,487
美原保健センター	322	165	274	314	304

資料：子ども青少年局子ども青少年育成部子ども育成課

12-5-4 栄養指導、歯科検診、精神保健

栄養指導は栄養改善事業の他に母子保健、成人保健関係事業を含む。精神保健中のちぬが丘保健センター分は堺保健センターに含む。

年 度	栄 養 指 導		歯 科 検 診			精 神 保 健	
	集団指導	個人指導	1歳6か月児	3 歳 児	歯の健康相談・健康展	相談数	訪問指導
平成 22 年度	33,368	3,172	7,408	7,412	2,312	30,867	5,826
23 年度	30,512	3,244	7,609	7,221	2,402	30,178	5,486
24 年度	30,283	3,668	7,285	7,210	2,515	31,996	5,444
25 年度	30,352	3,535	7,223	7,364	2,643	37,277	5,661
26 年度	29,982	3,747	6,942	6,964	2,534	36,893	5,587
健康医療推進課	538	311	—	—	2,534	—	—
堺保健センター	2,984	260	778	741	—	} 7,628	} 1,367
ちぬが丘保健センター	715	91	253	262	—		
中保健センター	3,550	686	1,184	1,136	—	5,008	518
東保健センター	3,296	287	673	671	—	4,099	449
西保健センター	5,729	823	1,184	1,243	—	5,098	950
南保健センター	4,874	368	975	1,120	—	6,625	895
北保健センター	5,716	734	1,581	1,487	—	6,623	1,118
美原保健センター	2,580	187	314	304	—	1,812	290

資料：健康福祉局健康部健康医療推進課、精神保健課

12-5-5 予 防 接 種 (定 期)

予防接種法に基づき、定期的予防接種を指定医療機関（BCG予防接種のみ保健センター）で実施している。平成24年9月より、急性灰白髄炎（ポリオ）は、経口生ワクチンから不活化ワクチンへ変更となった事に伴い、接種回数が2回から4回に変更となった。また、平成24年11月より、DPT三種混合に急性灰白髄炎（ポリオ）を加えたDPT-IPV四種混合が導入された。DPT-IPV四種混合の接種数は、DPT三種混合の接種数を含め、（）内はDT二種混合による接種数である（内数）。麻しん・風しんは、平成18年4月1日から接種対象が1期（生後12月から24月未満）と2期（小学校就学前1年）に、接種するワクチンが麻しん風しん混合ワクチン（り患した場合などを除く）に変更となった。また、平成20年4月1日から平成25年3月31日までの間、麻しん風しんの予防接種を1回しか受ける機会がなかった年代に3期（中学1年生相当年齢）・4期（高校3年生相当年齢）として2回目の接種機会が設けられた。単抗原ワクチン接種数は（）書きで別掲している。日本脳炎は、積極的勧奨の中断期間中にあったため1期及び2期の接種回数が不足している「平成7年6月1日から平成19年4月1日生れの者」に対し、平成23年5月20日より定期の予防接種として認める特例措置が設けられた。また、平成25年4月1日より特例措置の対象者に、「平成7年4月2日から平成7年5月31日生れの者」が追加された。ヒブ、小児用肺炎球菌及び子宮頸がん予防ワクチン予防接種については、平成23年1月1日から平成25年3月31日までの間、「ワクチン接種緊急促進事業」として全額公費負担により実施していた。予防接種実施規則の改正に伴い、平成25年4月1日より定期の予防接種として規定された。なお、子宮頸がん予防ワクチンについては、平成22年10月1日から平成22年12月31日まで市独自制度により費用の一部を公費助成で実施していた。市独自制度実施分483人は、本表に含まれない。また、平成26年10月より、水痘が定期接種化された。

年 度	急性灰白髄炎（ポリオ）		DPT-IPV四種混合		DT二種混合2期		
	生後3～90月未満		生後3～90月未満		11～13歳未満		
平成22年度		15,438	31,880	(6)		6,460	
平成23年度		12,541	30,070	(5)		6,784	
平成24年度		28,693	30,957	(2)		6,844	
平成25年度		11,339	30,114	(-)		6,297	
平成26年度		4,088	26,533	(-)		6,824	
堺保健センター	}	650	}	4,218	(-)	}	1,025
ちぬが丘保健センター							
中保健センター							
東保健センター							
西保健センター							
南保健センター							
北保健センター							
美原保健センター							
年 度	麻 し ん ・ 風 し ん						
	1 期	2 期	3 期	4 期			
平成22年度	7,494 (麻しん 3) (風しん -)	7,436 (麻しん 2) (風しん 2)	6,880 (麻しん 4) (風しん 8)	5,723 (麻しん 9) (風しん 23)			
平成23年度	7,356 (麻しん 3) (風しん 4)	7,256 (麻しん -) (風しん -)	7,316 (麻しん 1) (風しん 33)	5,820 (麻しん 8) (風しん 18)			
平成24年度	7,391 (麻しん -) (風しん 1)	7,638 (麻しん 1) (風しん 1)	7,248 (麻しん 4) (風しん 22)	5,579 (麻しん 6) (風しん 8)			
平成25年度	6,991 (麻しん 5) (風しん -)	7,314 (麻しん 3) (風しん -)	- (麻しん -) (風しん -)	- (麻しん -) (風しん -)			
平成26年度	6,842 (麻しん -) (風しん -)	7,396 (麻しん -) (風しん -)	- (麻しん -) (風しん -)	- (麻しん -) (風しん -)			
堺保健センター	}	}	}	}	}	}	}
ちぬが丘保健センター							
中保健センター							
東保健センター							
西保健センター							
南保健センター							
北保健センター							
美原保健センター							
年 度	日 本 脳 炎						
	1期 (3歳～90月未満)	1期 (特例措置)	2期 (9歳～13歳未満)	2期 (特例措置)			
平成22年度	32,392	1,934	1,310	-			
平成23年度	27,001	16,839	3,910	1,425			
平成24年度	23,077	14,221	3,471	1,118			
平成25年度	20,391	7,052	3,315	826			
平成26年度	20,454	3,804	4,306	1,116			
堺保健センター	}	}	}	}	}	}	}
ちぬが丘保健センター							
中保健センター							
東保健センター							
西保健センター							
南保健センター							
北保健センター							
美原保健センター							

資料：健康福祉局健康部保健所感染症対策課

12-5-5 予 防 接 種 (定 期) つづき

年 度	ヒ ブ	小児用肺炎球菌	子宮頸がん	水痘
	生後2月～5歳未満	生後2月～5歳未満	中学1年生～高校1年生	生後12月～60月未満
平成 22 年 度	8,660	10,093	4,790	-
23 年 度	26,696	32,213	30,392	-
24 年 度	30,296	31,141	13,532	-
25 年 度	30,235	29,101	1,182	-
26 年 度	27,948	27,633	71	12,192
堺保健センター	} 5,534	} 5,517	} 12	} 2,061
ちぬが丘保健センター				
中保健センター	2,739	2,266	8	1,741
東保健センター	5,450	6,562	8	1,254
西保健センター	5,114	4,286	15	2,140
南保健センター	2,851	2,799	13	1,557
北保健センター	4,108	3,874	12	2,876
美原保健センター	2,152	2,329	3	563

資料：健康福祉局健康部保健所感染症対策課、健康医療推進課

12-6 健康増進福祉センター活動状況

12-6-1 ちぬが丘診療所診療科目別患者数

年 度	延 総 数	延 患 者 数					
		内 科	小 児 科	整 形 外 科	耳 鼻 咽 喉 科	眼 科	歯 科
平成 22年度	23,584	9,457	2,450	4,496	2,832	2,233	2,116
23年度	21,226	8,789	2,609	3,756	2,390	1,797	1,885
24年度	20,380	8,771	2,464	3,614	2,427	1,333	1,771
25年度	18,586	8,574	2,268	2,906	2,162	925	1,751
26年度	16,683	7,686	1,655	2,755	2,250	775	1,562

資料：健康福祉局健康部健康医療推進課

12-6-2 障害者福祉センター利用状況

年 度	延 総 数	更生相談取扱件数	施設利用者数	見学者数
平成 22 年 度	9,942	564	9,360	18
23 年 度	9,764	607	9,150	7
24 年 度	9,069	683	8,386	-
25 年 度	11,707	616	11,091	-
26 年 度	10,551	423	10,128	-

資料：健康福祉局障害福祉部障害者支援課

12-7 急病診療センター診療状況

本表は急病診療センター及び堺市口腔保健センターにおける診療状況である。
 延診療回数は、昼・前準夜・準夜・深夜帯の総回数であり、内科は15歳以上、小児科は15歳未満の受診者数である。眼科及び耳鼻咽喉科は年末・年始のみの診療で平成22年度より休止中である。

年 度	延診療回数	受 診 者 数					
		総 数	内 科	小 児 科	眼 科	耳鼻咽喉科	歯 科
平成 22 年 度	1,120	36,149	5,495	29,363	-	-	1,291
23 年 度	1,122	37,718	5,861	30,673	-	-	1,184
24 年 度	1,122	35,217	6,649	27,467	-	-	1,101
25 年 度	1,122	35,579	6,788	27,737	-	-	1,054
26 年 度	1,118	35,452	7,592	27,044	-	-	816
宿院急病診療センター	71	4,475	1,797	2,678	-	-	-
泉北急病診療センター	924	30,161	5,795	24,366	-	-	-
口腔保健センター	123	816	-	-	-	-	816

資料：健康福祉局健康部健康医療推進課

12-8-2 四類・五類感染症患者の発生数

年 次	総 数	つつが虫病	デング熱	鳥インフルエンザ (鳥インフルエンザ (H5N1)を除く)	レジオネラ症	梅 毒
平成 22年	43	1	1	-	7	4
23年	39	-	-	-	7	2
24年	80	-	-	-	2	6
25年	365	-	2	-	11	12
26年	71	-	1	-	6	10

資料：健康福祉局健康部保健所感染症対策課

12-9 環境衛生関係及び薬務関係施設数

環境衛生関係施設の()内は環境衛生監視員が、薬務関係施設の()内は薬務監視員が、それぞれ1年間に行った監視数である。
 大阪府からの権限移譲により、薬務関係施設の薬局・薬局製剤製造販売業・薬局製剤製造業については平成23年度から、毒物劇物業務上取扱者については平成24年度から計上している。また店舗販売業については、薬事法改正により平成21年度から計上している。

年 度	環 境 衛 生										
	公衆浴場	旅館業	興行場	理容所	美容所	クリーニング所 (取次も含む)	特定建築物	簡易専用 水道	専 用 水道	浄化槽	死亡獣畜 取扱場
平成22年度	74	81	15	672	1062	738	170	1,231	55	14,540	1
23年度	67	82	17	664	1075	754	172	1,235	55	13,984	1
24年度	62	84	16	663	1098	662	171	1,235	56	13,461	1
25年度	62	83	15	666	1121	661	177	1,228	54	13,061	1
26年度	63	82	14	648	1129	635	182	1,237	54	12,666	1
	(186)	(102)	(15)	(116)	(164)	(189)	(45)	(22)	(94)	(44)	(1)

資料：健康福祉局健康部保健所環境薬務課

12-8 感染症発生状況

本表は感染症発生動向調査の数値を表章したものである。

12-8-1 三類感染症患者(無症状者を含む)の発生数

年次	総数	細菌性赤痢	コレラ	腸チフス	パラチフス	腸管出血性大腸菌感染症
平成 22年	14	1	—	—	1	12
23年	34	—	—	—	—	34
24年	12	—	—	—	—	12
25年	21	1	—	—	—	20
26年	14	—	—	—	—	14

資料:健康福祉局健康部保健所感染症対策課

アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く)	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レプトコッカス菌感染症	後天性免疫不全症候群	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	その他	年次
3	—	2	2	15	—	8	22
3	—	1	1	15	2	8	23
5	2	—	2	14	3	46	24
11	—	—	1	8	—	320	25
7	—	1	3	9	—	34	26

関係施設					薬務関係施設								年度
動物飼養施設	プール	墓地	火葬場	納骨堂	薬局	薬局製剤製造販売業	薬局製剤製造業	医薬品販売業			毒物劇物販売業	毒物劇物業務上取扱者	
								一般	特例	店舗			
52	32	185	15	17	—	—	—	4	15	94	352	—	22
49	31	185	14	17	307	102	102	1	7	115	344	—	23
49	31	185	14	17	314	100	100	—	—	131	349	24	24
48	31	185	14	17	324	97	97	—	—	133	349	22	25
30	30	185	14	17	335	95	95	—	—	131	345	22	26
(56)	(90)	(47)	(0)	(0)	(265)	(42)	(42)	(-)	(-)	(105)	(126)	(23)	

12-10 食品衛生関係施設数

年 度	許 可 を 要 す る 施 設								
	総 数	飲 食 店 営 業	菓 子 製 造 業	魚 介 類 販 売 業	喫 茶 店 営 業	アイスクリーム 類 製 造 業	乳 類 販 売 業	食 肉 販 売 業	豆 腐 製 造 業
平成22年度	13,323	7,580	646	575	1,886	115	1,543	631	43
23年度	13,170	7,531	660	574	1,769	98	1,559	630	38
24年度	13,157	7,552	680	579	1,641	91	1,632	631	37
25年度	13,456	7,773	698	611	1,565	91	1,689	671	36
26年度	12,992	7,494	689	608	1,463	79	1,648	670	35

資料：健康福祉局健康部保健所食品衛生課

12-11 食中毒発生状況

本表は市内発生に係る食中毒患者数を表章したものである。

年 次	患 者 数	原 因 施 設 別							
		飲 食 店 営 業		家 庭	そ の 他	不 明			
		仕 出 し 業	飲 食 店				サルモネラ	腸炎ビブリオ	
平成22年	31	—	31	—	—	—	—	—	
23年	1,183	118	23	—	1,037	5	—	—	
24年	51	26	25	—	—	—	—	—	
25年	57	—	31	—	26	—	—	—	
26年	10	—	10	—	—	—	—	—	

資料：健康福祉局健康部保健所食品衛生課

12-12 衛生検査状況

本表は衛生研究所において行なっている衛生検査の項目ごとの検査数を表章したものである。

年 次	細 菌 検 査 担 当					ウ イ ル ス 検 査 担 当				
	食中毒関連	食品細菌（食中毒関連を除く）	環境細菌	腸内細菌	感染症発生動向調査	感染症発生動向調査	食中毒ウイルス	血液検査	衛生害虫等	
平成22年	1,283	2,330	1,390	1,225	4	642	99	967	1,769	
23年	3,681	2,246	1,500	1,557	15	568	241	1,122	1,529	
24年	811	1,954	1,336	1,208	25	755	64	733	2,047	
25年	792	1,736	1,422	1,375	10	1,231	51	1,458	2,270	
26年	783	1,836	1,473	2,129	7	2,182	50	2,068	2,106	

年 次	食 品 検 査 担 当					環 境 検 査 担 当				
	食品添加物	食品規格	家庭用品	医薬品	その他	飲料水	一般環境水	水質汚濁	住環境	
平成22年	215	1,820	449	18	18	748	1,332	4,528	—	
23年	173	1,737	423	32	24	442	1,217	4,535	—	
24年	117	1,775	392	29	17	418	1,272	2,612	—	
25年	171	1,770	418	15	127	421	1,169	2,824	—	
26年	177	1,568	387	39	16	448	1,166	2,666	—	

資料：健康福祉局健康部衛生研究所

各年度末現在

設			許 可 を 要 し な い 施 設								年 度
めん類 製造業	氷 雪 販売業	その他	総 数	給食施設	食 品 製造業	野菜果実 販売業	そう菜 販売業	菓 子 販売業	食 品 販売業	その他	
27	15	262	5,924	158	368	969	396	1,508	2,087	438	22
25	14	272	6,384	618	368	969	396	1,508	2,087	438	23
21	14	279	6,385	619	368	969	396	1,508	2,087	438	24
21	14	287	6,385	619	368	969	396	1,508	2,087	438	25
19	13	274	6,640	874	368	969	396	1,508	2,087	438	26

病 因 物 質 別						年 次			
細 菌					ウイルス		ヒスタミン	寄生虫	不 明
カンピロバクター	ウエルシュ菌	病原大腸菌	ぶどう球菌	セレウス					
4	—	—	—	—	27	—	—	—	22
4	1,037	5	—	—	137	—	—	—	23
—	—	—	—	—	49	—	2	—	24
—	—	—	—	—	31	26	—	—	25
—	—	—	—	—	10	—	—	—	26

12-13 火 葬 状 況

本表は堺市立斎場及び市内の共有火葬場14ヵ所における火葬状況を表章したもので、()内の数値は市内居住者の火葬件数で内数である。

年 度	堺 市 立 斎 場									共 有 火 葬 場	
	火葬炉数 (年度末)	火 葬 件 数								火葬炉数	火葬件数
		総 数	大 人	小人(満12歳未満)	死 産 児						
平成22年度	17	8,165	(6,490)	7,967	(6,338)	28	(21)	170	(131)	23	741
23年度	17	7,757	(6,491)	7,544	(6,316)	22	(20)	191	(155)	23	655
24年度	17	7,402	(6,780)	7,214	(6,623)	29	(25)	159	(132)	23	636
25年度	17	7,403	(6,844)	7,243	(6,709)	18	(16)	142	(119)	19	659
26年度	17	7,602	(7,007)	7,428	(6,861)	22	(20)	152	(126)	19	594

資料：健康福祉局健康部斎場

12-14 犬の登録、予防注射及び犬猫の収容状況

本表は狂犬病予防業務及び動物愛護業務の概況を表章したものである。犬の登録は生涯1回登録である。

年 度	犬								咬 傷 件 数	
	新規登録数	注射数	収容数	引取数	返還数	譲渡数	処分数	飼主不明犬	飼い犬	
平成22年度	3,306	27,521	42	215	38	71	153	-	10	
23年度	3,057	27,614	37	141	35	51	91	-	8	
24年度	2,800	27,108	30	214	24	101	115	-	10	
25年度	2,739	27,140	22	119	21	73	46	-	7	
26年度	2,480	26,683	9	83	11	51	37	-	10	

年 度	猫						処 分 数
	猫 引 取 数		負傷猫収容数	返還数	譲渡数		
	飼い猫	所有者不明猫					
平成22年度	155	425	56	4	12	619	
23年度	94	285	36	-	24	384	
24年度	89	223	46	-	34	330	
25年度	18	159	34	-	29	181	
26年度	28	183	27	2	41	189	

資料：健康福祉局健康部保健所動物指導センター

12-15 疾病別公害健康被害者認定状況

本表は公害健康被害の補償等に関する法律による認定患者数を表章したものである。

年 度	総 数	各年度末現在											
		慢 性 気 管 支 炎			気 管 支 ぜん 息			ぜん息性気管支炎			肺 気 し ゅ		
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
平成22年度	1,765	392	97	295	1,339	603	736	-	-	-	34	19	15
23年度	1,703	367	91	276	1,305	587	718	-	-	-	31	18	13
24年度	1,655	340	82	258	1,285	580	705	-	-	-	30	17	13
25年度	1,509	307	75	232	1,173	518	655	-	-	-	29	17	12
26年度	1,439	276	68	208	1,137	507	630	-	-	-	26	15	11
0～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～24歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25～29歳	11	-	-	-	11	6	5	-	-	-	-	-	-
30～34歳	108	-	-	-	108	64	44	-	-	-	-	-	-
35～39歳	149	-	-	-	149	86	63	-	-	-	-	-	-
40～44歳	141	1	-	1	140	83	57	-	-	-	-	-	-
45～49歳	105	5	3	2	100	56	44	-	-	-	-	-	-
50～54歳	57	5	1	4	50	24	26	-	-	-	2	-	2
55～59歳	52	-	-	-	52	21	31	-	-	-	-	-	-
60～64歳	76	9	1	8	67	26	41	-	-	-	-	-	-
65～69歳	111	15	7	8	96	31	65	-	-	-	-	-	-
70歳以上	629	241	56	185	364	110	254	-	-	-	24	15	9

資料：健康福祉局健康部保健所保健医療課

12-16 大 気 汚 染

12-16-1、12-16-2の環境基準評価による適合基準

項 目	環境基準評価による適合基準
二酸化硫黄	長期的評価による日平均値0.04ppmを超えた日数が0であること。
浮遊粒子状物質	長期的評価による日平均値0.10mg/m ³ を超えた日数が0であること。
微小粒子状物質	1年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ、日平均値の年間98%値が35μg/m ³ 以下であること。
二酸化窒素	98%値評価による日平均値0.06ppmを超えた日数が0であること。
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppmを超えた時間数が0であること。
一酸化炭素	日平均値が10ppmを超えた日数が0で、かつ、8時間値が20ppmを超えた回数が0であること。

12-16-1 一般環境局平均値

項目によって測定局の数が異なる。昼間とは6～20時までの時間帯をいう。
()内数値は、環境基準評価適合局数/測定局数である。なお「-」は、環境基準がない項目である。

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
二酸化硫黄濃度 (ppm)	0.007 (6/6)	0.006 (6/6)	0.006 (6/6)	0.006 (6/6)	0.006 (6/6)
浮遊粒子状物質濃度 (mg/m ³)	0.023 (9/9)	0.023 (2/9)	0.022 (9/9)	0.023 (9/9)	0.022 (9/9)
微小粒子状物質濃度 (μg/m ³)	17.8 (0/1)	16.9 (0/2)	17.6 (0/4)	16.9 (0/5)	15.0 (2/5)
一酸化窒素濃度 (ppm)	0.004 (-/9)	0.004 (-/9)	0.004 (-/9)	0.004 (-/9)	0.003 (-/9)
二酸化窒素濃度 (ppm)	0.017 (9/9)	0.017 (9/9)	0.017 (9/9)	0.016 (9/9)	0.015 (9/9)
全炭化水素濃度 (ppmC)	2.11 (-/5)	2.12 (-/5)	2.12 (-/5)	2.12 (-/5)	2.11 (-/5)
非メタン炭化水素濃度 (ppmC)	0.21 (-/5)	0.21 (-/5)	0.19 (-/5)	0.19 (-/5)	0.17 (-/5)
昼間の光化学オキシダント濃度 (ppm)	0.034 (0/9)	0.030 (0/9)	0.032 (0/9)	0.033 (0/9)	0.033 (0/9)

資料：環境局環境保全部環境共生課

12-16-2 自動車排出ガス局平均値

()内数値は、環境基準評価適合局数/測定局数である。なお「-」は、環境基準がない項目である。

項 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
浮遊粒子状物質濃度 (mg/m ³)	0.026 (6/6)	0.025 (1/6)	0.025 (5/5)	0.025 (6/6)	0.023 (6/6)
微小粒子状物質濃度 (μg/m ³)	- (-)	18.1 (0/1)	21.2 (0/1)	18.4 (0/2)	15.2 (0/2)
一酸化窒素濃度 (ppm)	0.013 (-/6)	0.014 (-/6)	0.011 (-/5)	0.013 (-/6)	0.011 (-/6)
二酸化窒素濃度 (ppm)	0.026 (6/6)	0.025 (6/6)	0.024 (5/5)	0.024 (6/6)	0.022 (6/6)
一酸化炭素濃度 (ppm)	0.5 (2/2)	0.5 (2/2)	0.4 (1/1)	0.5 (2/2)	0.4 (2/2)

資料：環境局環境保全部環境共生課

12-17 光化学スモッグの発生並びに被害の訴え状況

本表は市内の光化学スモッグの発生状況等を表章したもので、()内は大阪府下における数値である。

年 度	発 令 回 数				予 報 延 べ 発 令 時間 (時間:分)	注 意 報 延 べ 発 令 時間 (時間:分)	被 害 の 訴 え 人 数
	予 報	注 意 報	警 報	重 大 緊 急 警 報			
平成22年度	9 (17)	7 (12)	- (-)	- (-)	38:50 (63:10)	27:00 (40:30)	- (1)
23年度	2 (4)	2 (4)	- (-)	- (-)	6:20 (12:20)	5:00 (9:30)	- (-)
24年度	5 (7)	2 (4)	- (-)	- (-)	16:00 (23:10)	6:40 (11:20)	- (6)
25年度	5 (13)	4 (7)	- (-)	- (-)	18:30 (46:40)	11:00 (19:50)	- (-)
26年度	1 (5)	1 (3)	- (-)	- (-)	7:20 (15:20)	5:50 (10:10)	- (7)

資料：環境局環境保全部環境共生課

12-18 燃料使用量等の推移

概数である。

年 度	燃 料 使 用 量							
	重 油 (10 ³ kl)			原 油 (10 ³ kl)	ナフサ (10 ³ kl)	軽油・灯油 (10 ³ kl)	L. P. G. (10 ³ トン)	13A (10 ⁶ Nm ³)
	A重油	B重油	C重油					
平成21年度	3.5	0.1	24.1	-	-	15.7	25.8	164.0
22年度	3.4	0.1	26.5	-	-	10.2	40.1	179.4
23年度	3.6	0.1	27.3	-	-	13.3	32.5	182.2
24年度	3.5	0.1	26.0	-	-	9.5	46.4	178.1
25年度	3.4	0.1	25.7	-	-	10.4	44.8	208.1

年 度	燃 料 使 用 量				燃料使用総量 (重油換算) (千kl)	硫黄酸化物 排 出 量 (トン/年SO ₂ 換算)	窒素酸化物 排 出 量 (トン/年NO ₂ 換算)
	木・紙等 (t/年×10 ³)	天然ガス (10 ⁶ Nm ³)	その他のガス (10 ⁶ Nm ³)	コークス (10 ³ トン)			
平成21年度	479.3	1,592.3	431.5	11.6	3,041.4	172	2,571
22年度	559.6	2,128.9	636.2	11.8	4,020.9	248	2,539
23年度	546.6	2,737.4	607.0	11.6	4,773.1	173	2,596
24年度	517.0	3,188.7	658.4	11.3	4,705.1	220	2,622
25年度	440.0	3,059.6	592.6	15.2	5,161.2	136	2,544

資料：環境局環境保全部環境対策課

12-19 環境水質測定結果

12-19-1 健康項目

平成26年度

項 目	カドミウム Cd	全リン CN	鉛 Pb	六価クロム Cr+6	ヒ素 As	総水銀 T-Hg	PCB	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
環境基準 (mg/L)	0.003 以下	検出されないこと	0.01 以下	0.05 以下	0.01 以下	0.0005 以下	検出されないこと	0.02 以下	0.002 以下	0.004 以下	0.1 以下	0.04 以下	1 以下
測定地点数	7	7	7	7	7	7	5	16	16	16	16	16	16
最大値	<0.0003	不検出	<0.005	<0.02	<0.005	<0.0005	不検出	<0.002	<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005
不適合数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

項 目	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	フェノール	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素 F	ほう素 B	1,4-ジオキサン
環境基準 (mg/L)	0.006 以下	0.01 以下	0.01 以下	0.002 以下	0.006 以下	0.003 以下	0.02 以下	0.01 以下	0.01 以下	10 以下	0.8 以下	1 以下	0.05 以下
測定地点数	16	16	16	7	7	7	7	7	7	17	16	16	17
最大値	<0.0006	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	7.7	0.50	1.3*	<0.005
不適合数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*：ほう素については海水の影響がある水域では環境基準は適用されない。

資料：環境局環境保全部環境共生課

12-19-2 生活環境項目

測定地点	環境基準 河川 類型	年度	水素イオン濃度	生物化学的酸素	浮遊物質	溶存酸素
			[pH]	要求量 [BOD] mg/L	[SS] mg/L	[DO] mg/L
			最小～最大	平均	平均	平均
和田川 C (小野々井橋)		平成22年度	7.1～9.3	4.4	8	11
		23年度	7.3～9.9	3.4	8	11
		24年度	7.3～9.1	2.7	6	11
		25年度	7.4～9.6	2.8	7	12
		26年度	7.2～9.5	1.9	5	11
西除川 D (大和川合流直前)		平成22年度	7.1～8.1	9.5	7	7.8
		23年度	6.8～9.0	6.5	11	9.4
		24年度	6.7～8.0	2.2	3	8.7
		25年度	6.7～8.0	1.7	2	8.5
		26年度	7.0～8.4	1.7	3	9.6
石津川 D (石津川橋)		平成22年度	6.3～8.4	6.2	6	7.6
		23年度	7.1～9.1	3.3	7	7.6
		24年度	6.8～8.4	3.4	6	7.8
		25年度	7.0～8.1	2.9	4	7.6
		26年度	7.0～8.3	2.2	4	8.1
石津川 D (神石橋)		平成22年度	7.0～8.9	16	9	8.4
		23年度	7.3～8.9	9.5	10	8.6
		24年度	7.2～9.3	9.0	8	8.4
		25年度	7.3～8.3	13	9	8.6
		26年度	7.2～8.4	7.7	5	8.7
石津川 D (毛穴大橋)		平成22年度	7.3～8.2	22	9	7.1
		23年度	7.2～8.4	11	14	7.5
		24年度	7.3～7.8	10	10	8.5
		25年度	7.3～8.0	12	10	7.7
		26年度	7.2～7.9	9.1	4	8.0
石津川 D (新川橋)		平成22年度	7.6～8.7	4.2	7	11
		23年度	7.4～9.6	4.0	9	11
		24年度	7.5～8.8	2.9	6	10
		25年度	7.5～9.1	2.4	4	11
		26年度	7.5～8.9	2.0	5	11
和田川 C (檜尾橋)		平成22年度	7.5～9.3	4.0	7	9.8
		23年度	7.5～9.1	3.4	8	9.3
		24年度	7.6～8.4	2.1	5	9.9
		25年度	7.8～8.8	2.0	5	11
		26年度	7.1～8.7	1.3	3	10
東除川 C (新大阪橋)		平成22年度	7.2～8.4	5.8	4	8.9
		23年度	7.5～9.0	3.1	2	9.2
		24年度	6.9～8.6	4.8	3	8.9
		25年度	6.9～9.3	2.8	2	9.4
		26年度	7.2～9.1	1.7	6	10
西除川 D (西除橋)		平成22年度	7.2～9.0	3.6	5	14
		23年度	7.8～9.4	4.0	10	15
		24年度	7.0～9.5	2.9	10	12
		25年度	7.4～9.8	6.0	13	15
		26年度	7.6～9.4	3.8	6	14

資料：環境局環境保全部環境共生課

12-20 環境騒音測定結果

本表は、市内の環境騒音について各区域内6地点(計42地点)を選定し、5年計画で全区域を測定し、その結果を表章したものである。

○は環境基準適合、●は環境基準不適合を示す。平成26年度は中区で調査を行った。

地域類型の定義は次のとおりである。

A：第1種・第2種低層住居専用地域、第1種・第2種中高層住居専用地域

B：第1種・第2種住居地域、準住居地域、用途地域の指定のない地域

C：近隣商業・商業地域、準工業・工業地域

単位：デシベル

測定場所	地域類型	測定結果 (等価騒音レベル /環境基準の適否)				測定場所	地域類型	測定結果 (等価騒音レベル /環境基準の適否)					
		昼間 (午前6時～ 午後10時)		夜間 (午後10時～ 翌日の午前6時)				昼間 (午前6時～ 午後10時)		夜間 (午後10時～ 翌日の午前6時)			
		値	適合	値	適合			値	適合	値	適合		
(平成22年度測定)													
東区	白鷺町1丁目	A	47	○	40	○	美原区	南余部西1丁目	A	52	○	43	○
	引野町2丁目	A	42	○	35	○		北余部	B	52	○	48	●
	日置荘田中町	B	48	○	37	○		阿弥保	B	48	○	38	○
	中茶屋	C	50	○	45	○		大平尾	B	48	○	41	○
	草尾	B	48	○	38	○		小つき野東2丁目	B	50	○	43	○
	南野田	A	43	○	35	○			A	48	○	40	○
(平成23年度測定)													
西区	上野芝町4丁目	A	50	○	34	○	南区	庭代台1丁目	A	42	○	35	○
	浜寺諏訪森町中1丁目	A	47	○	37	○		晴美台1丁目	A	44	○	33	○
	草部	B	49	○	39	○		横塚台3丁目	A	45	○	34	○
	鳳東町7丁目	C	54	○	44	○		赤坂台6丁目	A	49	○	39	○
	浜寺石津町東1丁目	C	48	○	40	○		竹城台4丁目	A	44	○	40	○
	浜寺船尾町東2丁目	C	55	○	48	○		原山台5丁目	C	49	○	38	○
(平成24年度測定)													
堺区	今池町6丁目	A	52	○	43	○							
	南三国ヶ丘町4丁目	A	50	○	42	○							
	石津町2丁目	B	47	○	41	○							
	材木町東2丁目	C	51	○	41	○							
	甲斐町西2丁目	C	53	○	44	○							
砂道町2丁目	C	52	○	38	○								
(平成25年度測定)													
北区	大豆塚町1丁目	A	45	○	39	○							
	東上野芝町2丁目	A	50	○	43	○							
	金岡町	A	49	○	45	○							
	船堂町	B	49	○	38	○							
	金岡町	B	48	○	37	○							
南花田町	C	49	○	42	○								
(平成26年度測定)													
中区	深井中町	A	45	○	38	○							
	小阪	B	45	○	42	○							
	深阪	A	46	○	40	○							
	大野芝町	C	45	○	41	○							
	福田	B	40	○	38	○							
	上之	B	42	○	38	○							

資料：環境局環境保全部環境対策課

12-21 自動車交通騒音測定結果

本表は、市内の道路交通センサスの調査対象道路及び4車線以上の市道のうち住居系地域延長がある区間について、道路構造条件、交通条件等から82測定区間を設定し、5年を1サイクルとした調査を実施している。

○は環境基準適合、●は環境基準不適合を示す。

1. 交通量は、昼間(10時、15時)の台数/10分の合計、夜間(22時、5時)の台数/10分の合計である。
2. 環境基準の区分表

A：第1種・第2種低層住居専用地域、第1種・第2種中高層住居専用地域

B：第1種・第2種住居地域、準住居地域、用途地域の指定のない地域

C：近隣商業・商業地域、準工業・工業地域

近接：道路端から2車線以下の車線を有する場合は道路の敷地境界線から15m、2車線を越える車線を有する道路の場合は20mの範囲を示す。

単位：デシベル

平成26年度

道路種別	路線名	測定場所	車線数	交通量		環境基準の区分	道路沿道					
				昼間	夜間		昼間(6-22)		夜間(22-6)			
							等価騒音レベル	環境基準適否	等価騒音レベル	環境基準適否		
							レベル	適否	レベル	適否		
一般国道	一般国道26号	西区浜寺船尾町東2丁	8	1198	445	近接	72	●	70	70	●	65
	一般国道309号	美原区平尾	4	932	222		70	○		65	○	
	一般国道310号	中区福田	2	311	73		70	○		66	●	
主要地方道	大阪高石線	北区百舌鳥梅北町5丁	2	110	29		65	○		60	○	
	堺かつらぎ線	西区家原寺町1丁	4	685	107		70	○		65	○	
	堺羽曳野線(旧)	堺区向陵中町5丁	2	155	28		66	○		59	○	
	堺狭山線	西区浜寺石津町西2丁	4	847	221		73	●		69	●	
	富田林泉大津線	南区竹城台1丁	8	1303	251		72	●		67	●	
一般府道	堺港線	堺区大浜北町5丁	6	471	86		70	○		65	○	
	浜寺公園停車場線	西区浜寺公園町2丁	2	11	0		53	○		47	○	
	大堀堺線	北区北花田町	2	288	42		68	○		61	○	
	我堂金岡線	北区南花田町	2	38	9		60	○		52	○	
	西鳳東線	東区日置荘西町	2	116	13		66	○		59	○	
	和田福泉線	南区檜尾	2	279	70	70	○	66	●			
市道	大道筋	堺区錦之町西1丁	8	350	56	62	○	56	○			

資料：環境局環境保全部環境対策課

12-22 産業廃棄物排出量及び処分状況

本表は製品出荷額等の指標を基に市内の産業廃棄物排出量等を推定したものである。
 なお単位未満で四捨五入をしたため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

単位：1000トン

平成22年度

廃棄物の種類	総数	再利用量	減量化量	最終処分量
総数	2,681	791	1,775	115
燃え殻	0	-	-	0
汚泥	1,862	84	1,735	43
廃油	42	28	13	0
廃酸	17	11	3	4
廃アルカリ	8	3	4	1
プラスチック類	21	12	5	4
紙くず	4	4	0	0
木くず	56	45	4	7
繊維・植物性残渣	1	1	-	0
ゴムくず	3	3	0	-
金属くず	0	0	-	-
ガラ等	135	129	-	6
鉱さい	37	27	0	10
ばれき類	27	27	-	1
ばいじん	427	402	-	25
動物のふん尿	4	4	-	-
廃アスベスト等	-	-	-	-
感染性産業廃棄物	0	0	-	0
その他（混合物）	4	0	3	1
その他産業廃棄物	32	10	8	14
その他産業廃棄物	1	1	-	-

資料：環境局環境保全部環境対策課

12-23 公害苦情件数

本表は市民より訴えのあった公害苦情の件数を表章したものである。

年 度	総 数	典 型 7 公 害							7公害以外	
		総 数	大 気 汚 染	水 質 汚 濁	土 壌 汚 染	騒 音	振 動	地 盤 沈 下		悪 臭
平成 22 年 度	438	414	111	37	-	177	14	-	75	24
23 年 度	475	457	133	56	-	190	17	-	61	18
24 年 度	481	451	137	36	-	192	12	-	74	30
25 年 度	392	378	99	33	3	169	14	-	60	14
26 年 度	410	389	94	36	2	181	18	-	58	21

資料：環境局環境保全部環境対策課

12-24 ごみ排出量及び収集世帯数・人口

1. 世帯数及び人口は、各年度9月末の住民基本台帳（外国人住民を含む）によるものである。
 注)平成22年度は、9月末の住民基本台帳及び外国人登録による世帯数・人口である。
 2. 資源回収量を含まない。

年 度	排 出 量 (トン)	世 帯 数		人 口	
		収集世帯数	1日1世帯当 り排出量(g)	収 集 人 口	1日人口1人当 たり排出量(g)
平成22年度	287,017	372,120	2,113	850,061	925
23年度	290,884	375,725	2,121	850,780	937
24年度	293,841	376,000	2,141	850,521	947
25年度	292,022	378,268	2,115	848,957	942
26年度	275,925	381,257	1,983	848,111	891

資料：環境局環境事業部環境事業管理課

12-25 清掃工場搬入量

1. 平成26年度から、継続ごみは申込個数により家庭系と事業系に案分している。
 2. 平成26年度から、環境美化ごみは環境系として計上している。

単位：トン

年度	総量	家 庭 系					事 業 系				環 境 系
		生活ごみ	継続ごみ	粗大ごみ	直接搬入	選別後残渣	継続ごみ	環境美化ごみ	許可業者 搬入ごみ	直接搬入	環境美化ごみ
平成22年度	288,131	149,793	-	3,772	5,409	1,148	30,854	1,648	71,186	24,321	-
23年度	291,959	158,667	-	3,098	5,867	1,109	21,869	1,608	75,826	23,915	-
24年度	294,555	158,371	-	3,000	6,390	740	20,295	1,401	80,085	24,273	-
25年度	293,175	158,439	-	2,958	6,740	1,171	16,538	1,474	81,462	24,393	-
26年度	276,868	157,854	1,501	2,739	6,881	962	14,033	-	74,274	17,102	1,522
月平均	23,072	13,155	125	228	573	80	1,169	-	6,190	1,425	127
日平均	759	432	4	8	19	3	38	-	203	47	4

資料：環境局環境事業部環境事業管理課

12-26 埋立処分地搬入量

平成22年度のし尿処理汚泥には、地域し尿処理施設から発生した処理汚泥を含む。

単位：トン

年 度	総 量	清 掃 工 場 焼 却 残 渣	し 尿 処 理 汚 泥 (クリーンセンター 浄化ステーション)	直接埋立ごみ
平成22年度	48,642	48,598	10	34
23年度	50,111	50,065	12	34
24年度	47,465	47,429	10	26
25年度	33,455	33,426	11	18
26年度	28,370	28,340	11	19

資料：環境局環境事業部環境事業管理課

12-27 資源化状況

1. 品目ごとに端数処理しているため、合計が合わない場合がある。
2. 平成23年10月でペットボトル拠点回収を終了した。
3. 古紙類（美原区）は、平成22年4月の制度統一後も、美原区での回収を継続している。
4. 古紙類（各工場）は、平成26年度から、クリーンセンター各工場でリサイクルした古紙類の量を計上している。
5. 平成26年度から、民間の排出事業者（堺市内）が直接民間再資源化事業者と契約してリサイクルしている量を自主資源化として計上している。
6. スラグ・メタルは、クリーンセンター臨海工場で溶融処理した際に生成される溶融固化物である。
7. 平成24年度のスラグ・メタルは、クリーンセンター臨海工場の試運転による発生分である。

単位：トン

年 度	分別収集・拠点回収							集 団 回 収	古 紙 類 (各工場)	庁 内 古 紙	剪 定 枝	自 主 資 源 化	破 砕 処 理 施 設 鉄 分 回 収	ス ラ グ ・ メ タ ル	合 計	
	缶 び ん		ペ ッ ト ボ ト ル		プ ラ ス チ ッ ク 製 容 器 包 装	小 型 金 属	古 紙 類 (美 原 区)									計
	計 画 回 収	拠 点 回 収	計 画 回 収	拠 点 回 収												
平成22年度	1,278	5,281	1467	129	4,932	279	106	13,472	33,316	-	183	2,360	-	574	-	49,905
23年度	1,210	5,209	1,324	55	4,810	283	96	12,987	31,898	-	179	3,501	-	413	-	48,978
24年度	1,156	5,049	1,403	-	4,933	274	101	12,916	30,388	-	171	4,571	-	551	1,719	50,316
25年度	1,175	4,913	1,424	-	4,580	266	112	12,470	29,195	-	221	3,469	-	330	14,991	60,675
26年度	1,160	4,756	1,394	-	4,587	269	120	12,286	27,915	72	319	4,136	2,542	213	15,117	62,600

資料：環境局環境事業部環境事業管理課

12-28 環境美化作業件数

年 度	総 数	不法投棄	町会清掃
平成 22年度	6,936	3,633	3,303
23年度	6,468	3,378	3,090
24年度	6,549	3,527	3,022
25年度	5,722	2,844	2,878
26年度	5,569	2,560	3,009

資料：環境局環境事業部環境事業管理課

12-29 し尿収集量、収集世帯数・人口等

収集世帯数及び人口は各年度9月末のものである。

年 度	収 集 量 (k l)	収 集 世 帯 数	収 集 人 口	全市に対する収集 世帯数の割合 (%)
平成22年度	39,301	9,000	20,061	2.4
23年度	35,709	8,009	17,541	2.1
24年度	32,295	7,309	15,761	1.9
25年度	29,729	6,618	13,975	1.7
26年度	27,925	5,965	12,467	1.6

資料：環境局環境事業部環境事業管理課

12-30 処理場別し尿処理量

1. 浄化槽汚泥を含めた処理量である。
 2. 端数処理しているため、合計が合わない場合がある。
- 注) クリーンセンター浄化ステーションでは、重量を計量しており、下記の値は容量に換算した値である。

単位：k l

年度	総 量	クリーンセンター 浄化ステーション	三宝下水処理場
平成22年度	64,645	53,917	10,728
23年度	61,478	51,070	10,408
24年度	55,185	45,734	9,452
25年度	51,880	42,448	9,433
26年度	48,846	39,622	9,224

資料：環境局環境事業部環境事業管理課